



2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2025年11月7日

上場会社名 株式会社アサnte

上場取引所 東

コード番号 6073 URL <https://www.asante.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮内 征

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営本部長 兼 経営企画部長 (氏名) 中尾 能之

TEL 03-3226-5511

半期報告書提出予定日 2025年11月7日

配当支払開始予定日

2025年12月1日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	7,934	1.1	809	29.7	811	25.8	540	24.0
2025年3月期中間期	7,848	3.0	1,152	32.6	1,093	21.1	710	23.1

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 580百万円 (16.6%) 2025年3月期中間期 696百万円 (12.1%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	55.31	49.28
2025年3月期中間期	64.60	58.16

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	14,665	10,040	68.4	1,025.90
2025年3月期	14,346	9,744	67.8	996.76

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 10,026百万円 2025年3月期 9,730百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		31.00		31.00	62.00
2026年3月期		31.00			
2026年3月期(予想)				31.00	62.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,900	6.2	1,320	7.6	1,310	12.8	820	19.2	84.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	12,348,500 株	2025年3月期	12,348,500 株
期末自己株式数	2026年3月期中間期	2,575,576 株	2025年3月期	2,586,066 株
期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	9,765,296 株	2025年3月期中間期	11,003,864 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

この資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現性を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、個人消費における消費者マインドの改善に遅れがみられ、景気の下振れリスクとなりました。先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に、緩やかな回復が期待されるものの、継続的な物価上昇に加え、金融資本市場の変動等の影響には、引き続き注意する必要があります。

当社グループの市場におきましては、住宅に関する政府の目標である「いいものを作って、きちんと手入れして、長く使う」社会に移行する方針を踏まえ、白蟻防除の潜在需要は、依然として大きいものと捉えております。

このような状況下において、当社グループは2025年4月に組織体制を経営・人事・管理・営業の四本部制に移行し、機能強化を図りました。この新体制のもと、5つの重点戦略である「営業推進基盤・体制の強化」「生産性の向上」「お客様視点に立ったサービスの拡充」「人的資本の開発・活用」「事業活動を通じた社会課題解決への貢献」に取り組んでまいりました。

「営業推進基盤・体制の強化」につきましては、企業提携先の拡大やマーケティング強化に取り組みながら、「シロアリバスターズ®」を活用したテレビCM・新聞折込・WEB広告やSNS等の積極的な広告宣伝に加え、PR活動によるメディア露出も増強し、当社の技術力と白蟻防除の必要性を幅広くアピールしてまいりました。その結果、白蟻防除等の申込調査件数が増加するなど市場からの反響が得られましたが、不安定な天候・気温が白蟻の活動に影響したことに加え、消費者マインド改善の遅れにより、短期的な効果の現れとしては想定を下回りました。

また、「生産性の向上」につきましては、営業効率向上の一環として、電子地図システムを全支店に導入しました。今後は、営業活動の更なる効率化と蓄積されたデータを活用した契約取得の精度向上を図ります。現段階では初期投資が先行しておりますが、導入効果の最大化に努めてまいります。

「人的資本の開発・活用」につきましては、若手社員のキャリアパス明確化や、より働きやすい職場環境への整備を進めることで、従業員の更なる業務意欲向上に取り組んでまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は、前年同期比85百万円増加(1.1%増)の7,934百万円となりました。

売上原価は、前年同期比74百万円増加(3.3%増)しました。その結果、売上総利益は同11百万円増加(0.2%増)の5,580百万円となり、売上総利益率は同0.6ポイント低下して70.3%となりました。

営業利益は、前年同期比342百万円減少(29.7%減)の809百万円となり、営業利益率は同4.5ポイント低下して10.2%となりました。経常利益は、同281百万円減少(25.8%減)の811百万円となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、同170百万円減少(24.0%減)の540百万円となりました。

(経営成績に関する特記事項)

当社グループの業績(特に利益)は、中間連結会計期間に偏重する傾向があります。これは、例年5月をピークとして4月から7月頃まで、白蟻の活動が活発化し、白蟻防除関連の売上高が増加するためであります。この季節の変動により、四半期連結会計期間末ごとの財務内容、経営指標にも変動が生じます。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における資産は、前期末比319百万円増加し、14,665百万円となりました。主な要因は、売掛金の増加であります。

負債は、前期末比24百万円増加し、4,625百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の増加であります。

純資産は、前期末比295百万円増加し、10,040百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加であります。

この結果、自己資本比率は68.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前期末比100百万円増加の7,207百万円となりました。

営業活動により増加した資金は401百万円となりました。主な増加要因は、税金等調整前中間純利益811百万円、主な減少要因は、法人税等の支払額224百万円であります。なお、前年同期の増加した資金は1,059百万円でした。

投資活動により減少した資金は67百万円となりました。なお、前年同期の減少した資金は31百万円でした。

財務活動により減少した資金は233百万円となりました。主な減少要因は、配当金の支払額302百万円であります。なお、前年同期の減少した資金は276百万円でした。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想などにつきましては、2025年5月9日公表の予想数値から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,106,131	7,207,022
売掛金	1,722,666	1,902,331
製品	69,262	74,487
仕掛品	20,284	16,516
原材料及び貯蔵品	259,470	271,640
その他	174,028	210,071
貸倒引当金	△1,283	△939
流動資産合計	9,350,561	9,681,129
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,245,996	1,222,175
土地	2,981,584	2,982,544
その他(純額)	169,363	181,106
有形固定資産合計	4,396,944	4,385,826
無形固定資産		
のれん	44,185	34,366
その他	46,412	64,227
無形固定資産合計	90,598	98,594
投資その他の資産		
その他	501,323	496,080
貸倒引当金	△6,640	△6,523
投資その他の資産合計	494,682	489,557
固定資産合計	4,982,225	4,973,978
繰延資産	13,356	10,875
資産合計	14,346,142	14,665,983
負債の部		
流動負債		
買掛金	329,726	283,817
1年内返済予定の長期借入金	126,504	147,504
未払法人税等	265,686	331,716
賞与引当金	289,970	285,936
その他の引当金	—	15,081
その他	1,052,377	1,032,249
流動負債合計	2,064,264	2,096,304
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	1,999,690	1,999,690
長期借入金	230,310	289,308
退職給付に係る負債	79,281	61,649
その他	227,670	178,853
固定負債合計	2,536,952	2,529,501
負債合計	4,601,216	4,625,805

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,161,195	1,161,195
資本剰余金	870,587	872,015
利益剰余金	11,678,120	11,915,621
自己株式	△3,897,460	△3,881,947
株主資本合計	9,812,442	10,066,884
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△81,619	△40,809
その他の包括利益累計額合計	△81,619	△40,809
新株予約権	14,102	14,102
純資産合計	9,744,926	10,040,177
負債純資産合計	14,346,142	14,665,983

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	7,848,670	7,934,510
売上原価	2,280,046	2,354,209
売上総利益	5,568,624	5,580,301
販売費及び一般管理費	4,415,829	4,770,379
営業利益	1,152,795	809,921
営業外収益		
受取利息	530	6,222
補助金収入	—	4,197
その他	4,355	5,524
営業外収益合計	4,886	15,944
営業外費用		
支払利息	2,763	3,998
自己株式取得費用	53,296	—
リース解約損	—	2,967
支払手数料	3,752	3,756
その他	4,008	3,221
営業外費用合計	63,820	13,942
経常利益	1,093,860	811,922
税金等調整前中間純利益	1,093,860	811,922
法人税、住民税及び事業税	379,280	286,770
法人税等調整額	3,730	△14,983
法人税等合計	383,011	271,786
中間純利益	710,849	540,136
親会社株主に帰属する中間純利益	710,849	540,136

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	710,849	540,136
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△14,182	40,809
その他の包括利益合計	△14,182	40,809
中間包括利益	696,667	580,945
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	696,667	580,945

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,093,860	811,922
減価償却費	74,118	76,492
のれん償却額	9,819	9,819
貸倒引当金の増減額(△は減少)	970	△460
賞与引当金の増減額(△は減少)	499	△4,034
受取利息及び受取配当金	△530	△6,222
支払利息	2,763	3,998
リース解約損	—	2,967
売上債権の増減額(△は増加)	47,423	△177,681
棚卸資産の増減額(△は増加)	△13,206	△13,662
仕入債務の増減額(△は減少)	△16,729	△45,909
その他	12,703	△31,920
小計	1,211,692	625,308
利息及び配当金の受取額	530	6,222
利息の支払額	△2,913	△4,072
法人税等の支払額	△149,624	△224,950
リース解約損の支払額	—	△2,967
その他	228	1,744
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,059,913	401,286
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△38,147	△68,850
その他	6,198	1,556
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,949	△67,294
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	150,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△74,502	△70,002
配当金の支払額	△341,902	△302,555
その他	△10,259	△10,543
財務活動によるキャッシュ・フロー	△276,663	△233,100
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	751,300	100,891
現金及び現金同等物の期首残高	8,718,792	7,106,131
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,470,093	7,207,022

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。